

消防ポンプ自動車（水槽付CD－I） 仕様書

（圧縮空気泡消火装置搭載・オールシャッター型）

平成27年度事業

名張市

第1 総則

- 1 この仕様書は、名張市（以下「発注者」という。）が購入する消防ポンプ自動車（水槽付 CD-I 型）（以下「車両」という。）の製作の艤装について必要な事項を定めるものである。この車両は、今後想定される大規模・特殊災害において県内外への応援出動に備え、迅速かつ的確に活動を展開することを目指して緊急消防援助隊に登録する車両である。また、圧縮空気泡消火装置搭載及び救命処置用資機材を積載するなど実災害を視野に入れ、限られた水利状況での消火活動や人命救助活動などを含め、機能向上及び装備を充実させた車両である。
- 2 車両の製作は、この仕様書および製作承認図等（契約後受注者にて製作すること。）に従うこと。また、受注者は救命処置用資機材納入業者と十分に協議調整し、別途契約により積載される救命処置用資機材をすべて運用できる状態で納入すること。
- 3 車両は、道路運送車両法および道路運送車両法の保安基準に適合し、緊急自動車としての承認が得られること。
- 4 受注者は、消防用車両の安全基準検討委員会が定める「消防用車両の安全基準について」の項目を満足し、品質確保、環境対策の配慮から ISO9001、ISO14001 認証取得による品質環境管理システムによって製造が行われていること。
- 5 受注者は、契約にあたりこの仕様書を了承し、不審な点については、発注者担当員に質問し十分に熟知した上で契約すること。
- 6 受注者は、契約後 2 週間以内に仕様書詳細について発注者担当員と打合せを行い、その後、2 週間以内に打合せ事項についての議事録を 1 部提出すること。また、製作承認図及び工程表等を提出し、承認を得て製作に着手すること。
- 7 受注者は、契約後製作にあたりこの仕様書に疑問が生じた場合は、発注者担当員に連絡の上承認または指示を受けること。
- 8 受注者は、製作にあたりこの仕様書を変更する必要がある場合には、発注者担当員と打合せの上、変更承認図を提出し、承認を得ること。
- 9 受注者は、製作全般にわたり厳重な検査を実施すること。
- 10 受注者は、設計、製作、材料、部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合には、その責任を負うこと。
- 11 受注者は、製作工程表に基づき、次の検査を受けること。
 - (1) 艤装中間検査（発注者が適当と判断する時期）
 - (2) 完成検査（発注者が適当と判断する時期に受注者製作工場にて完成車重量測定検査及び車両安定傾斜角度測定検査を実施。）
- 12 納期、保証及び旧車両の廃車等は、次のとおりとする。
 - (1) 納 期 : 平成 28 年 3 月 18 日（金）
 - (2) 納入場所 : 新規検査および新規登録を受け、発注者に納入することとし、各部

の注油、点検整備を入念に実施し、燃料及び油脂類を満量にしたうえで納入すること。

- (3) 登録諸費用：登録に関する一切の経費については受注者が負担する。

但し、自動車登録手数料、自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料およびリサイクル料金は、発注者が負担する。

- (4) 車両点検：受注者は、納入から1年間の間に実施する1ヶ月、6か月、12か月の車両点検を無償で実施すること。

- (5) 旧車両廃車：旧車両1台（三重88ほ35-75）については、新規車両の納車日以降に引き取りを行うこと。その後、登録抹消手続きの後、履行期限までに登録抹消書類を提出すること。

- (6) 受注者は、納入する各資機材に廃番、改良、仕様の変更等があった場合は、発注担当者に連絡し、同等品または同等以上の資機材の承認を受け納入すること。

- (7) 自動車固有に定められた保証期間及び構造欠陥又は材質不良等製作上の欠陥による故障が生じた場合は、車両の使用期間を保証期間とし、受注者の責任において無償で修理又は交換等必要な処置を講ずること。

- (8) 履行の遅滞による違約金は、名張市契約規則（平成11年名張市規則第20号）第46条の規定を適用する。

13 提出書類

- (1) 受注者は、契約後に次の書類を2部提出すること。

ア 製作工程表

イ 製作承認図（外観5面図、ボックス内艤装図）

- (2) 受注者は、納入時に次の書類を2部提出すること。

ア 電気配線図

イ ポンプ取扱説明書

ウ パーツリスト

エ 車両取扱説明書

オ ポンプ性能試験成績表

カ 受託評価合格プレートの写し

キ 日本消防設備安全センターによる性能評定書写し

ク 製作工程写真（組立、塗装、艤装、完成車重量測定検査、車両安定傾斜角度測定検査）

ケ 契約明細書（艤装、物品単価等）

第2 概要

本車両は、下記のシャシに1段ボリュートポンプを装備し、河川、消火栓等の水利より強力な放水をなし一般火災に対し速やかに活動出来るものとする。

1 完成車寸法及び重量

- (1) 全長 : 6,000mm 以下
- (2) 全幅 : 1,950mm 以下
- (3) 全高 : 3,000mm 以下
- (4) 総重量 : 8 トン未満

2 使用シャシ

- (1) 型式 : 3 t 級消防専用ダブルキャブオーバー型
- (2) 駆動方式 : 4WD
- (3) トランスミッション : 駆動方式に応じたもの
- (4) ホイルベース : 2,750mm～2,800mm
- (5) 乗車人員 : 5 名以上
- (6) 検定出力 : 100 kW 以上
- (7) PTO : 水ポンプ用 PTO
- (8) バッテリ : 95E41R 型 12V 100AH 以上 2 個
- (9) オルタネーター : 24V－60A 以上
- (10) オイルパンヒーター : キャブタイヤコード 10m 1 本付き
- (11) チルト装置 : 電動油圧式
- (12) エアコン : 純正品
- (13) オーディオ : 純正品
- (14) タイヤ : 205/85R16
- (15) キャブ内シート : 純正品
- (16) サイドバイザー : キャブ各ドア上部
- (17) 泥除けたれゴム : 全輪
- (18) スペアタイヤ : ホイル付き 1 本
- (19) フロアマット : 前後席 1 式
- (20) オイルジャッキ : 1 式
- (21) 標準工具 : 1 式
- (22) 愛車セット : 1 式
- (23) 非常信号灯 : 1 式
- (24) タイヤチェーン : シングル用 1 式
- (25) 停止表示板 : 1 式
- (26) ドアキー : アンサーバック機能付き電動リモコンドアロック
キー 2 個
- (27) パワーウインドウ : 前後左右ドア全て

- (28) 集中ドアロック : 運転席にてドアロック作業が可能とする
- (29) フォグランプ : フロント
- (30) ナビゲーション : バックガイドモニター付 (V I C S 対応)
- (31) ドライビングレコーダー : 1 式
- (32) スタッドレスタイヤ : ホイル付 6 本

3 水ポンプ装置

- (1) 水ポンプ (日本消防検定協会による受託評価の品質評価合格品)
- (2) ポンプ性能 A-2 級
 - 放水静圧力 0.85MPa において放水量 2,200L/min 以上
 - 放水静圧力 1.40MPa において放水量 1,900L/min 以上
- (3) 水ポンプは、シャシエンジンの P.T.O (パワーテイクオフ) により駆動され、P.T.O の操作は運転席に設けられたレバーまたはスイッチにより行うものとする。

水ポンプはキャフス装置のスペースを確保できるよう小型化する為、コンパクトなインデューサー付 1 段ボリュートポンプ又は、2 段バランス式とする。

材質は、各装置による重量増を解消する為、本体をアルミ製とする。但し、インペラーについては砂利等の混入にも対応できるよう強度、腐食性を考慮し、青銅铸件とする。

グランド部は不凍液等を必要としない完全メンテナンスフリーメカニカルシールとする。

4 真空形成装置

- (1) 真空形成装置は資機材収納スペースの確保及び軽量化する為、圧縮空気泡消火装置のコンプレッサーから吐出される空気を利用して真空状態を形成する構造とする。
- (2) 操作は押ボタン式スイッチによるものとし、駆動装置は円滑に作動し、揚水完了後は自動的に停止すること。尚、非常用の別系統スイッチを車両右側に設けるものとする。
- (3) 真空性能は、吸管外端閉塞にて 30 秒以内に大気圧の 84% とする。

5 安全機能付ポンプ操作装置

ポンプ操作装置は車体左右に設け、操作員が容易に且つ安全にポンプ操作が行える様、次の機能を有するものとする。

- (1) 圧力計・連成計 (リタード式) はステッピングモータを用いた電子式 (透過光照明灯・ゲージ部作動確認ランプ付) とし、振動等でも針振れがない構造とする。

(2) ポンプスロットルは電子式スロットルとし、左右どちらでも同方向に回転することによってエンジン回転速度を上げ下げできるものとする。

(3) ポンプスロットルは、誤作動を防止するための安全ロック機能を設ける。

(4) 多目的表示液晶ディスプレイは操作盤の中央とし、詳細は以下の通りとする。

ア 取り扱い表示（機器取扱・点検整備・故障対策等を文章で表示ができること。）

イ モニタ表示（警告モニタとして冷却水及び真空形成装置作動タイムに対する警告表示ができ、尚且つ警報ブザーが鳴るようにすること。また、各ボールコックの開閉状況、揚水・放水の状況確認のできるモニタ表示、ポンプ回転計・ポンプ圧力計・ポンプ連成計を各々デジタル数値により表示できるモニタ表示ができること。）

ウ 流水表示（各ボールコックの開閉状況、ポンプの運転状況及び放水時における水の流れる状況が把握できる流水表示ができること。）

エ 流量・積算表示（流量範囲によって表示色が変化すること。流量範囲とは筒先を一人持ちで放水できる範囲、二人持ちで放水できる範囲、二人持ちでも放水ができない範囲とする。また、積算量もデジタル数値により表示できること。）

オ 圧縮空気泡消火装置使用時には、泡流量ならびに水流量を表示できること。

(5) ディスプレイ内の各表示切換はパネルスイッチ式により行えるものとする。

(6) 真空形成装置の操作は非常時に手動操作にて行えるものとする。

(7) ポンプ操作装置には隊員の安全を確保する為、次の安全機能を設ける。

ア スロットル固定機能

不用意にスロットルに触れてもエンジン回転の上昇を防ぐようスロットル固定機能を設ける。但し、固定した場合でも安全方向（スロットルダウン）には操作出来るものとする。

イ 自動調圧機能

機関員の負担を軽減する為、自動調圧装置を設けるものとし手動にて任意の圧力に上昇させた時点で設定する方法と、予め設定された7種類以上の設定圧力をワンタッチにより選択する操作方法が併用できる構造とすること。自動調圧機能の解除については、スロットル操作を行った場合自動的に解除される構造とするとともに、ワンタッチにて解除も可能な構造とすること。

ウ 高圧中継警報

自動調圧中に中継圧が高く、エンジン回転数をアイドリングまで下げても設定圧まで下げられない時、ブザー音と共に液晶ディスプレイ内に高圧中継警告表示が点滅すること。

エ 低圧中継警報

中継水量が不足している時、ブザー音と共に液晶ディスプレイ内に低圧中継

警告表示が点滅すること。

(8) 吸水口

吸水口は、消防呼称 75mm ボールコック（ストレーナ付）とし、車両両側に各 1 個設け、75×10mmの吸管を常時接続する構造とする。（連続呼水装置付）吸口エルボは、吸管により車体を傷つけないようスーパースイングとする。レバーは左右とも前方向で開とする。

(9) 放水口

放水口は、消防呼称 65mm ボールコックとし、車両両側に各 2 個設ける。

なお、左右前方各 1 口については後述の圧縮空気泡消火装置の吐出口と兼用とし、レバーは左右とも前方向で開とする。（65 mm及び 50 mmを併用できるマルチタイプ）

(10) 中継吸口

中継口は、消防呼称 65mm ボールコックとし、車両両側に各 1 個設ける。

レバーは左右とも前方向で開となる構造にすること。

6 圧縮空気泡消火装置（キャフス装置）

- (1) 装置は、水ポンプ装置から送られてきた水を利用して、混合器で作られた混合液にコンプレッサーを用いて圧縮空気を送り込み、配管内部で泡状にして発泡できる装置で、少量の水で効率の良い泡消火が出来るものとする。また、空水比が 5 倍～10 倍の消火・火炎鎮圧用湿式泡（ウエット泡）と空水比が 16～20 倍の延焼防止・残火処理用乾式泡（ドライ泡）の 2 種類の泡について、泡管鎗を用いることなく吐出可能なものとする。

また、公表性能の保障、品質確保を証明する為に、第三者機関である(財)日本消防設備安全センターによる評定試験に合格した装置又は、受託評価合格品とする。

(2) 性能

ア 最大水流量 600 L/min 以上、最大空気吐出量 3,200 L/min 以上とし、最大泡吐出量 3,800 L/min 以上とする。尚、泡の吐出量を確認するための泡流量計を左右のポンプ操作盤液晶ディスプレイ内に設け、確認が行えるようにすること。

イ 泡吐出圧力は、0.3MPa～1.0MPa まで無段階調整ができるものとし、吐出泡流量はスロットル操作に応じて任意に調整できるものとする。

(3) 操作方法

本装置の操作は容易かつ集中操作できるよう、第 7 項の安全機能付ポンプ操作装置で可能なこととし、タッチパネル式にて操作が出来ること。

湿式泡と乾式泡、泡原液濃度の切替操作は、ディスプレイ内にてワンタッチで行えるものとする。

なお、切替及び変更操作は放水中でも可能なこととし、一定の問題が発生した場合は、液晶ディスプレイにエラー情報を表示すること。

(4) 安全機能

ア キャプス運転時における適正な回転数にスロットルを上げた後においては、スロットルを上げようとしても規定回転以上には回転が上がらないよう過回転防止装置を設けること。

イ コンプレッサーの油温が過熱すると警報を発すること。

ウ 泡原液の供給ができなくなった場合、スラッグフロー防止の為、自動的に水のみの放射に切り替わる構造とすること。

(5) コンプレッサー

ア オイル循環式のロータリースクリュー型コンプレッサーとし、コンプレッサーの潤滑油は補助冷却器により冷却する構造とする。なお、補助冷却器は圧力水の一部の水により冷却されるものとする。

イ コンプレッサーはメンテナンスを考慮し、国産製品とする。

ウ コンプレッサーは資機材収納スペースの確保の為、真空形成装置兼用とする。

エ コンプレッサーの冷却に使用した水は水槽へ還流するものとする。また、切替装置により、車外にも排出できる構造とすること。

(6) 混合装置

圧縮空気泡における水流量を感知して、コンピュータ演算により自動的に泡原液量を調整して混合比設定する電子式比例混合式とする。混合比は液晶ディスプレイ内でワンタッチにて変更可能なこと及び混合比の変更は放水中でも可能なこと。

また、泡原液濃度の設定は0.3～1.0%の8段階の設定可能な構造とし、左右の液晶ディスプレイ内で設定ができること。

(7) 泡原液（クラスA泡消火薬剤）

ア 環境に優しい環境保全型消火薬剤「ミラクルフォームα+（プラス）」とする。

イ 泡原液は品質保証の観点から日本消防検定協会の型式を取得し、尚且つ型式適合検定に合格した物とする。

ウ 泡原液は淡水または海水を使用した1%水溶液において、6倍以上の発泡倍率を有すること。

エ 泡原液の原料であるの界面活性剤は、化粧品原料規格 2006 適合品であること。

(8) ポンプ室内に交換容易なポリタンク（20L）式の容器を設置する。消火作業中の泡原液の補給を容易に行なえるよう、固定型の泡原液槽は設けないこと。また、訓練用薬剤を外部吸液できるよう切替コックを設けること。

(9) 本装置での泡消火作業は、ポンプ室左右の水ポンプ吐水口を使用し、ポンプ操作盤の操作により、容易に泡放射と水放水の切替が可能な配管構造とする。尚、隊員

- の現場で操作性及び誤操作防止のためにも、消火泡吐出口を専用で設けないこと。
- (10) 圧縮空気泡消火装置（コンプレッサー、混合装置等）は全てポンプ室内に収納し、速消ボックスや後部シャッターボックス等各ボックス内のスペースを確保し、ホースや資機材を積載できること。
- (11) 中継口より受水した場合でも使用可能なこととする。
- (12) 混合液放水
- 圧縮空気泡消火装置の混合器で作られた混合液を吐出可能なものとする。
- 操作は、左右ポンプ操作盤液晶ディスプレイ内で可能なこととし、泡原液濃度の設定は0.3～1.0%の8段階の設定可能な構造とする。放射は、左右の水泡兼用吐水口より可能な構造とする。

7 水槽

- (1) 容量 600 L
- (2) 材質については腐食対策、安定傾斜角度対策、重量軽減の為FRP製とする。
- (3) 積水口は左右に設けること。（65mmオスキャップ付）
- (4) オーバーフロー用パイプを設けること。
- (5) 水量計を左右に設けること。
- (6) タンク吸水口については、電動コックを使用しポンプ操作装置のディスプレイ内で操作可能とする。非常時は車外よりコック操作が可能なこと。

8 キャブの構造

- (1) キャブは、鋼板及び軽量かつ十分な強度を有し、耐熱性、耐紫外線性に優れたFRP素材を複合したキャブオーバーダブルキャブ型とする。
- (2) キャブルーフ上部は散光式赤色警光灯と一体型に形成された構造とし、内部には拡声装置付電子サイレン用スピーカー2個、モーターサイレンを設けること。また、赤色警光灯はLEDも内蔵すること。乗降用の手摺をキャブの両側面に設けること。
- (3) キャブルーフ左右に標識灯を埋め込み式で設けること。
- (4) キャブルーフはハイルーフ（約200mm）とし、居住性の優れた構造とし、後部席の床面より天井まで1,550mm以上確保すること。
- (5) 助手席は独立背もたれ型（ボストロム製シート又は、それ同等の性能を有するもの）として、空気呼吸器を内蔵できるクイックホルダー埋め込み型（背もたれカバー付）又は、運転席と助手席の間に固定用具を用い空気呼吸器を設置しても差し支えないものとする。
- (6) キャブ後部は張り出し（約150mm）とし、拡声器付き空気呼吸器取付装置を3基設けるとともに、後部座席の背当て部分を低くし空気呼吸器の着装に支障がない構造

とすること。

- (7) キャブ内後面に面体吊り下げ用フックを3個設けること。
- (8) 全席透明ビニールシート張りとし、なお且つ透明ビニールカバーを装着すること。
- (9) 乗車人員の走行時においての安全に必要な握り棒、手摺及び安全帯を設けること。
- (10) 前席と後席の間に手摺を設け、物掛けフックを2個設けること。
- (11) 地図等を収納するボックス（A3サイズ）をキャブ内中央手摺に1個設けること。
- (12) 電子サイレンアンプは、パトライト製（SAP-520FB（C）V）若しくは、それ以上の性能を有するものとし、ハンドマイク（パトライト製SDM-11若しくは、それ以上の性能を有するもの）を付属し、前席上部若しくはダッシュボード内に取付ること。
- (13) 赤色点滅灯をキャブ前面と車両後面及び車両両側面にそれぞれ2個取付ることとし、スイッチは、電子サイレンアンプと赤色警光灯と連動装置（パトライトLPP2-50若しくは、それ以上の性能を有するもの）を取付けること。
- (14) キャビン内天井にはLED灯を設け独立したスイッチを設けること。
- (15) バッテリーは引き出し式にて容易に点検できること。
- (16) バッテリーメインスイッチを設け、艀装関係の電源も切れること。
（全ての電装装備品はACCにて電源が入ること）
- (17) 消防マークを車両前面中央に取付ること。
- (18) バックガイドモニター付メモリーナビゲーション（VICS付）
車両販売会社純正の音声ガイダンス機能付で7インチ以上のモニターを装備したメモリーナビゲーションとバックアイカメラを取付けること。なお、ナビゲーションは、CD及びAM/FMラジオ機能付きで地図情報は最新のものとし、VICS情報を取得できるものであること。
また、取付け位置について発注者と協議すること。
ア 走行時、助手席員がナビゲーションを操作できるものであること。
イ バックアイカメラは有効な位置に取付けること。
ウ CDに挿入した音源を外部スピーカーで広報できるようにすることとし、外部と室内との切換えスイッチを設けること。
- (19) 無線機
ア 発注者が別途支給する車両用無線機一式を取付けること。
取付けに関しては、現有車両（三重88ほ35-75）のデジタル無線機（呼び出し名称「なばり8」）から子機、送受話器、アンテナ及び配線等一式の移設取

付けし、コード類の亀裂や老朽化がある場合は、新しく取替え、振動による故障が発生しないよう固定すること。

イ 無線機用配線は、電磁波等による本機への影響又は他の電子機器への影響が無いよう配線すること。(走行時にノイズが入らないものとする。)

ウ 事前に本体及び子機並びにアンテナについて設置位置を協議し決定すること。
無線機移設に係る免許申請等事務手続きもすべて受注者が行うこと。

エ キャビン内に無線用モニタリングスピーカーを取付けること。

オ スピーカー脇に遮断スイッチを設けること。

カ アンテナは固定式で天井部に二箇所設置するものとし、本体は運転席と助手の間に固定又は、オーバーヘッドコンソールへ設置すること。

設置位置については、発注者と協議すること。

キ 移設する無線の呼び出し名称は「なばり 8」と設定されているため「なばり 2」に名称変更手続きをすること。

また、現有車両(三重 800 さ 76-15)に積載されているデジタル無線機の呼び出し名称を「なばり 2」から「なばり 8」に変更すること。

ただし、無線機「なばり 2」と「なばり 8」が本体のみの入替えが可能な場合は、名称変更を必要としないものとする。

ク 無線設置にかかる細部については、事前に協議し決定すること。

9 車両の構造

- (1) 艀装は総合的な重量軽減、車両重量のバランスを考慮して製作する。
- (2) 車両の重要な点検箇所および主要な部分の点検整備に関して、工具類を使用する為のスペースを確保すると共に、必要箇所には点検口または点検扉を設ける。
- (3) 車両側板は一般構造用圧延鋼材(SS)を使用し、車体天井、各ステップはアルミ縞板を使用すること。
- (4) 車体形状は箱型とし、左右側面各 2 枚、後面 1 枚の手動バー式アルミシャッターを設けること。
- (5) 車体前方下部左右に各 1 枚のステップ兼用扉付収納ボックスを設けること。
- (6) 側面シャッターボックス内ポンプ室上部前方には水槽を設け、後方は左右貫通型の資機材収納スペースを設けること。(寸法：縦約 770 mm×横約 580 mm×奥行き約 1150 mm)
- (7) 車体後方左右側面は吸管収納スペースとする。
- (8) ポンプ室は点検手入れが容易に行える構造とする。
- (9) 吐出口・吸水口・中継口は、車体前方左右のアルミシャッター内に設けること。
- (10) 後面シャッター内は、資機材収納スペースとする。

- (11) 後面シャッター内に、手動ホースカーを積載し、固定装置を設けること。
- (12) 車体天井左右に一段手摺を設けること。
- (13) 車体天井に積載はしご昇降装置を設け、地上から操作できるよう引出転回式とする。
- (14) 車体後面右側に天井昇降用展開式アルミはしごを設けること。
- (15) 燃料タンクは、シャシ固有の位置に取付ける。
- (16) 標識灯を 1 個設ける。
- (17) 牽引フックを車両前部に設けること。(車両本体に標準で装備されている場合は、別途必要としない)
- (18) 各操作部（ハンドル、レバー、スイッチ等）には、名称および操作方法等を明記すること。
- (19) 車両本体に三連はしごを固定装置にて取付けること。
また、取付け位置については、事前に協議し決定すること。
- (20) 車両両側面に作業用 LED ライトを取付けること。
- (21) ポンプ操作部の手元用 LED ライトを取付けること。
また、取付箇所については、事前に協議し決定すること。
- (22) 車両上部にメタルハライドサーチライト（35W）を取付けること。
- (23) 旗立てパイプを車両上部に取り付けること。
- (24) 各ボックス内の取付け装置が無い部分には、スノコ板を敷くこと。
- (25) 車体後部のシャッター内に下段に C-1 級可搬式消防ポンプ（現有車両「なばり 8」積載のラビット P303 型）を積載するため、引出し式の固定装置を有すること。
また、可搬ポンプ用吸管を積載するための固定用具を用いることとし、取付け位置については、発注者と協議すること。
- (26) 車体左右側面に車体上部へ昇降するための折りたたみ式ステップを設けること。
- (27) 後記する付属品については、別途打ち合わせのうえ取り付けること。

10 塗装

- (1) 車両は充分錆落としの上、プライマー、パテ、サフェーサにより下地処理を行い、充分乾燥させ赤色塗装により 3 回以上の塗装を行う。塗料は VOC（揮発性有機溶剤）削減、環境負荷物質（鉛など）を一切含んでいない環境を考慮したハイソリッドウレタン塗料を使用すること。
- (2) アルミシャッター部は無塗装する。
- (3) アルミ縞板使用部は、無塗装とすること。
- (4) 車両下回りは黒色塗装とすること。
- (5) 車両左右及び標識灯には指定の文字を記入すること。※別途指示

11 救命処置用資機材

受注者は救命処置用資機材納入業者と十分に協議調整し、別途契約する救命処置用資機材が積載できるようにすること。

12 取付品・付属品

取付品及び取付装置

N o	品名	内容	個数
1	ポンプ圧力計	φ 100 透過光照明灯付	2 個
2	ポンプ連成計	φ 100 透過光照明灯付 リタード式	2 個
3	エンジン回転計	シャシ固有のもの	1 個
4	エンジン油温計	シャシ固有のもの	1 個
5	赤色警光灯		1 個
6	拡声器付電子サイレン		1 式
7	照明灯	φ 150 伸縮回転式 メタルハライド (35W)	2 個
8	後退警報器	シャシ固有のもの	1 個
8	標識灯	グローブ黄色・記入文字は後日指示	1 個
9	作業灯	L E D ライト	1 式

軽微な変更として備えることができる取付品及び取付装置

N o	品名	内容	個数
1	電動サイレン	赤色警光灯内蔵	1 個
2	ポンプ回転計	左右液晶ディスプレイ内表示	1 式

3	流量計	左右液晶ディスプレイ内 各吐水口用表示 (水放水時は水流量、CAFS放射時は水流量 ならびに泡流量表示)	1 式
4	積算流量計	左右液晶ディスプレイ内表示	1 式
5	キャブチルト装置	電動油圧式	1 式
6	オイルパンヒーター	シャシ固有	1 式
7	ホースカー	手動	1 式
8	ホースカー収納装置	手動	1 式

備えなければならない付属品

N o	品名	内容	個数
1	吸管	75mm×10m(AC金具・エルボ付)軽量ソフト	2 本
2	吸口ストレーナ	プラスチック製	2 個
3	吸管ストレーナ	プラスチック製	2 個
4	吸管ちりよけ籠	プラスチック製	2 個
5	吸管枕木	ゴム製	2 個
6	吸管ロープ	径10mm×15m	2 本
7	消火栓金具	75mmネジ×65mm差込メス	1 個
8	中継用媒介金具	65mmネジ×65mm差込メス	2 個

9	消火栓開閉金具	地下式（型式は発注者と協議する）	1 本
10	吸管スパナ		2 本
11	管鎗	50mm クアドラ	1 本
12	ノズル（替口）	20・23・26mm ストレート 各1個	3 個
		バリエアブルノズル	1 個
13	放口(吐水口)媒介金具	65mmネジメス×65mm差込メス	4 個
14	とび口	1.5m	2 本
15	金てこ	長さ 850mm	1 本
16	剣先スコップ		1 本
17	はしご	ステンレス製、3連梯子、8m以上、キャスタ ー付、引き綱麻ロープ	1 脚
19	車輪止め	ゴム製	2 個
20	消火器	ABC 6kg入り（モリタ製）[自動車用]	1 本
21	ポンプ工具	グラウトスパナ1丁 冷却水ストレーナキャップ用スパナ1丁	1 式
22	ホース	65mm×20m 1.6MPa	10 本
23	藤籠	ストレーナ付（ワンタッチ式）	1 式

軽微な変更として備えることができる付属品

No	品名	内容	個数
1	タイヤチェーン	シャシ固有	1 式
2	分岐管	分岐ボールバルブ（65mm50mmマルチ型）	1 個
3	ホースブリッジ	ゴム製 ニュースーパーS	1 式

4	スタンドパイプ	L字型	1本
5	特殊ノズル	エコファイターノズル	1本
6	特殊ノズル用ホース	50mm	8本
7	空気呼吸器	拡声器付（ライフゼムA-1）	4基
8	空気ボンベ	MSA CH-30M又は、空気呼吸器（ライフゼムA-1）に装着が可能であれば、ドレーゲルウルトレッサALT-639Jでも可とする。	8本
9	個人携帯警報器	MSA モーションスカウト K-T-R又は、ドレーゲルBG-1000でも可とする。	2個
10.	作業中表示板	アコーディオン式バリケード	1基

規格外機装取付及び付属品

No	品名	内容	個数
1	特殊管鎗	エコファイターノズル	1本
2	クラスA泡消火薬剤	ミラクルフォームα+	3缶
3	訓練用泡消火薬剤		2缶